

富士大学研究者情報

経済学部経営法学科

准教授

伊藤 潔

いとう きよし

研究者基本情報

生 年	昭和41（1966）年
最終学歴	順天堂大学大学院スポーツ健康科学研究科博士後期課程修了
取得学位	修士（英語学） 博士（スポーツ健康科学）
学位取得年月	平成23（2011）年3月 平成28（2016）年3月
出身地	青森県
専門分野	スポーツ健康科学
担当講義	人間科学と管理Ⅰ、学校保健、スポーツ社会学、トレーニング科学Ⅱ、 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ、体育実技（サッカー）、集中講義：体育実技（ゴルフ・水泳・スキー）
所属学会	日本武道学会、日本体育学会、日本コーチング学会
長期研究テーマ	柔道の技術・戦術の変容に伴う新たなコーチング手法の開発
短期研究テーマ	国際試合における柔道の有効な組手戦術行動の解明
1年以内に発表予定の研究業績	Characteristic of <i>kumite</i> re-gripping techniques preceding scored throws in international-level judo competition. (Journal of Combat Sports and Martial Arts)

研究業績 (2017年9月末日現在)

【論文】

1	The transformation of technical-tactical behaviors for hand techniques used in attacking below the belt after the 2010 International Judo Federation rule revision. Arch Budo, 2013; 1:1-6. (共著、第一著者)
2	The method of expert evaluation of specific abilities to practice judo – proposition of Japanese top level university judo coaches. Arch Budo, 2013; 3: 219-225. (共著、第一著者以外)
3	Judo Kumi-te Pattern and Technique Effectiveness Shifts after the 2013 International Judo Federation Rule Revision. Arch Budo, 2014; 10:1-9. (共著、第一著者)
4	Technical and Tactical Characteristic of Japanese High Level Women Kendo Players: Comparative Analysis. Arch Budo, 2014; 10: 79-87. (共著、第一著者以外)

5	「AHPを用いた柔道競技力の評価尺度の妥当性」 『武道学研究』、47巻、1号、2014、pp.1-8. (共著、第一著者以外)
6	Alterations in Kumite Techniques and the Effects on Score Rates following the 2013 International Judo Federation Rule Revision. Arch Budo 2015; 11:87-92. (共著、第一著者)
7	「2013年全日本選抜体重別選手権大会を対象とした柔道選手の競技力の評価指標の検討」 『千葉県体育学研究』、37巻、2015、pp.17-23. (共著、第一著者以外)
8	Effects of International Judo Federation 2013 Rule Revision on Kumite Strategies. (共)、『富士大学紀要』、第50巻1号、2017、pp.23-30.

【その他の執筆】

1	「資料報告」、(共著)、『月刊武道』、1997年11月、148頁
2	「資料報告」、(共著)、『アサンテサーナ ケニアで見つけた忘れ物』 2000年10月、77-79頁
3	「資料報告」、(共著)、『新大陸の光と影』、2003年12月、112-115頁
4	「学術誌への投稿論文の査読」 Original Article, Archives of Budo, Dec. 2013.
5	「IJF2010ルール改正に伴う帯下を攻撃する手技の技術、戦術変化の検証」 『柔道科学研究』、18巻、2013、pp8-12. (共著、第一著者)
6	「IJF2013ルール改正に伴う組手の「組替え戦術行動」の有無にみる投げ技スコア比率の変化、 『柔道科学研究』、20、2015、pp.1-4. (単著)
7	「平成28年台風10号被害と復旧・復興への対応」岩泉町の中山間地域における地域課題研究報告書、 富士大学附属地域経済文化研究所、pp.3-21. 2017.3.15
8	「柔道における組み手の戦術マニュアルの構築—組み方の優位性の解明—」 富士大学学術研究会報『星辰』第91号 pp.1-3.2017.9.15

【学会発表】

1	「2010IJFルール改正に伴う手や腕で脚を掴む手技の技術・戦術行動の変容」 口頭発表、日本武道学会創立45周年記念大会、2012年9月
2	The Transformation of Technical-tactical Maneuvers for Hand Techniques Used in Attacking below the Belt after the 2010 International Judo Federation Rule Revision. ポスター発表、2012 International Judo Symposium, Nov. 2012
3	Effect of 2013 International Judo Federation Rule Revision on Throwing Techniques Tactical Effectiveness: Comparative Analysis. 口頭発表2012 International Budo Conference by the Japanese Academy of Budo, Sep. 2013.
4	A study of validation of competitive abilities scale of judo competitors by using AHP and their competition results. 口頭発表 (共同研究者) 日本武道学会第46回大会、2013年9月
5	Effect of 2013 IJF Rule Revision on Judo Kumi-te Applications. ポスター発表 2013 International Judo Symposium, Nov. 2013
6	Evaluation of Judo Competitor's specific Abilities by Japanese University Judo Coaches ポスター発表 (共同研究者)、2013 International Judo Symposium, Nov. 2013

7	「英語スピーチ不安を克服するメンタルスキルトレーニング効果の検証」 口頭発表 平成26年度言語人文学会大会、2014.8.8
8	「2013IJFルール改正に伴う組手戦術行動にみる投技効力の変化について」 口頭発表 日本武道学会、2014.9.11.
9	「柔道選手における競技力の主観的評価尺度の検討」 口頭発表（共同研究者） 日本武道学会、2014.9.11.
10	Alterations in Kumi-te Techniques and Scored Throws following 2013 International Judo Federation Rule Revision: Comparative Analysis between 2012 Grand Slam Tokyo and 2013 Grand Slam Paris2013. 口頭発表2014 International Judo Symposium-Medical and Scientific Aspect. Dec. 2014
11	柔道コーチによる柔道競技力の評価重点項目の国際比較口頭発表（共同研究者） 日本体育学会、国土館大学、2015.8.25-27
12	「2013IJFルール改正に伴う組み手の組替え戦術行動にみる投技スコア取得率の変化」 口頭発表、2015年度第3回柔道医科学研究会 ～2015International Judo Symposium～ アルカディア市ヶ谷（私学会館）2015.12.3
13	2013IJFルール改正に伴う組手の「組替え戦術行動」にみる投技スコア取得率の変化 - 男女 選手を対象として- インパクトプレゼンテーション・ポスターセッションにて 口頭・ ポスター 発表、日本コーチング学会第27回大会（第9回日本体育学会体育方法専門領域研 究会）、 日本大学文理学部、2016.3.14-15
14	「柔道の国際試合におけるスコア取得に至る組手戦術行動の解明」 口頭発表、日本体育学会、大阪体育大学、2016.8.24-26
15	「大学柔道競技者による柔道競技力の主観的評価と試合結果との相関関係」 口頭発表（共同研究者）、日本体育学会、大阪体育大学、2016.8.24-26
16	「大学柔道競技者による柔道競技力の重点評価項目について」 口頭発表（共同研究者）、日本武道学会、皇學館大学、2016.9.7-8
17	「柔道の国際試合における罰則適用が投げ技による先取ポイント取得に与える影響」 （口頭発表）日本体育学会東北地域大会、山形大学、2016.12.3
18	「柔道競技における組手戦術行動パターンによる施技方向の判別」 日本コーチング学会第28回大会（第10回日本体育学会体育方法専門領域研究会） インパクトプレゼンテーション・ポスターセッションにて口頭・ポスター発表 早稲田大学東伏見キャンパス、2017.3.21-22
19	“Characteristics of kumite re-gripping techniques preceding scored throws in international –level judo competition” Aral presentation, 2017 International Budo Conference&日本武道学会第50回記念大会、 関西大学、2017.9.6-8
20	「柔道競技における組み手の戦術行動による投げ技効力の判別」 ポスター発表、日本体育学会第68回大会、静岡大学、2017.9.8-10

【教職歴・スポーツ業績】

<教職歴>

1	富士大学経済学部 准教授 2014年4月～
2	富士大学経済学部経営法学科長補佐 2015.4月～
3	花巻市民セミナー講師 2015.9月

<スポーツ業績：自己業績>

1	全国高等学校総合体育大会柔道競技、73kg級出場、1984年8月
2	国民体育大会柔道競技（奈良国体）、少年の部次鋒出場、1984年10月
3	全日本学生柔道体重別選手権大会、65kg級出場、1985年10月
4	全日本大学柔道体重別団体優勝大会出場、予選リーグにて全勝、1986年6月
5	全日本大学柔道体重別選手権大会、65kg級ベスト8、1986年10月
6	国民体育大会柔道競技（沖縄国体）、成年の部次鋒出場、1987年10月
7	全日本学生柔道優勝大会出場、ベスト32、1988年6月
8	全日本学生柔道体重別選手権大会、65kg級ベスト8、1988年10月
9	全日本学生柔道連盟選抜海外遠征参加(オーストラリア連邦)、1989年3月
10	日本傳講道館柔道5段取得、2001年7月
11	全日本柔道連盟審判員B級審判員資格取得、2009年10月
12	全日本柔道連盟公認指導者資格Aライセンス取得、2012年4月

<スポーツ業績：指導業績>

1	全ケニア共和国体重別柔道選手権大会、65kg級、78kg級、100kg超級優勝、1990年5月
2	ケニア共和国柔道ナショナルコーチ就任、1990年6月
3	全ケニア共和国視覚障害者柔道選手権大会、73kg級優勝、1990年7月
4	全ケニア共和国体重別柔道選手権大会、60kg級、65kg級、100kg超級優勝、1991年6月
5	世界柔道選手権バルセロナ大会、ケニア共和国代表60kg級出場、1991年7月
6	East Central African柔道選手権大会（ケニア・ナイロビ開催）、ケニア共和国代表60kg級金メダル、65kg級銀メダル、100kg超級金メダル、1991年9月
7	All African Games柔道競技（エジプト・カイロ開催）、ケニア共和国代表60kg級出場、1991年10月
8	バルセロナオリンピック柔道競技、ケニア共和国代表100kg超級出場、1992年8月
9	東北学生柔道優勝大会2位、1996年5月
10	全日本学生柔道優勝大会ベスト32、1996年6月
11	東北学生柔道優勝大会2位、1997年5月
12	全日本学生柔道優勝大会ベスト32、1997年6月
13	東北学生柔道優勝大会2位、1998年5月
14	全日本学生柔道優勝大会ベスト32、1998年6月
15	東北学生柔道優勝大会2位、1999年5月
16	全日本学生柔道優勝大会出場、1999年6月
17	東北学生柔道体重別団体優勝大会1位、1999年10月
18	全日本学生柔道体重別団体優勝大会ベスト32、1999年11月
19	東北学生柔道優勝大会3位、2000年5月
20	全日本学生柔道優勝大会出場、2000年6月

21	東北学生柔道体重別団体優勝大会2位、2000年10月
22	全日本学生柔道体重別団体優勝大会ベスト32、2000年11月
23	東北学生柔道優勝大会2位、2001年5月
24	全日本学生柔道優勝大会出場、2001年6月
25	東北学生柔道優勝大会2位、2002年5月
26	全日本学生柔道優勝大会ベスト32、2002年6月
27	東北学生柔道体重別団体優勝大会2位、2002年10月
28	全日本学生柔道体重別団体優勝大会ベスト32、2002年11月
29	東北学生柔道優勝大会2位、2003年5月
30	全日本学生柔道優勝大会ベスト32、2003年6月
31	東北学生柔道体重別団体優勝大会3位、2003年10月
32	全日本学生柔道体重別団体優勝大会ベスト32、2003年11月
33	東北学生柔道優勝大会2位、2004年5月
34	全日本学生柔道優勝大会出場、2004年6月
35	東北学生柔道体重別団体優勝大会1位、2004年10月
36	全日本学生柔道体重別団体優勝大会ベスト32、2004年11月
37	東北学生柔道優勝大会1位、2005年5月
38	全日本学生柔道優勝大会出場、2005年6月
39	東北学生柔道体重別団体優勝大会2位、2005年10月
40	全日本学生柔道体重別団体優勝大会ベスト32、2005年11月
41	東北学生柔道優勝大会1位、2006年5月
42	全日本学生柔道優勝大会出場、2006年6月
43	東北学生柔道体重別団体優勝大会1位、2006年10月
44	全日本学生柔道体重別団体優勝大会ベスト16、2006年11月
45	東北学生柔道優勝大会1位、2007年5月
46	全日本学生柔道優勝大会ベスト32、2007年6月
47	東北学生柔道体重別団体優勝大会3位、2007年10月
48	全日本学生柔道体重別団体優勝大会出場、2007年11月
49	東北学生柔道優勝大会1位、2008年5月
50	全日本学生柔道優勝大会出場、2008年6月
51	東北学生柔道体重別団体優勝大会3位、2008年10月
52	全日本学生柔道体重別団体優勝大会出場、2008年11月
53	東北学生柔道優勝大会1位、2009年5月
54	全日本学生柔道優勝大会ベスト32、2009年6月
55	東北学生柔道体重別団体優勝大会3位、2009年10月
56	全日本学生柔道体重別団体優勝大会ベスト32、2009年11月
57	東北学生柔道優勝大会3位、2010年5月
58	全日本学生柔道優勝大会出場、2010年6月
59	東北学生柔道体重別団体優勝大会3位、2010年10月

60	全日本学生柔道体重別団体優勝大会ベスト32、2010年11月
61	東北学生柔道優勝大会3位、2011年5月
62	全日本学生柔道優勝大会出場、2011年6月
63	東北学生柔道体重別団体優勝大会3位、2011年10月
64	全日本学生柔道体重別団体優勝大会ベスト32、2011年11月
65	東北学生柔道優勝大会3位、2012年5月
66	全日本学生柔道優勝大会出場、2012年6月
67	東北学生柔道体重別団体優勝大会2位、2012年10月
68	全日本学生柔道体重別団体優勝大会ベスト32、2012年11月

<スポーツ業績：海外遠征・海外チーム受入業績>

1	オーストラリア遠征 The University of New South Wales 柔道部との合宿・国際交流 2000年3月
2	ドミニカ共和国 Autonomous University of Santo Domingo 柔道部と姉妹クラブ協定締結 2003年9月
3	ドミニカ共和国遠征 Autonomous University of Santo Domingo 柔道部との合宿・国際交流 2005年3月
4	北京オリンピック、ドミニカ共和国柔道チームの最終調整合宿を本学柔道部と開催 2008年7月

【内外における公開講座等の講師】

1	講演テーマ：「スポーツを通じての国際交流：ドミニカ共和国サントドミンゴ自治大学柔道部との交流を通じて」 岩手県青年海外協力隊を育てる会、エスポワールいわて2014.10.6
2	平成26年度岩手県立花巻南高等学校「健康科学」特別講座 講義テーマ：「スポーツ健康科学とは何か？」2015.2.24
3	平成27年度第32回富士大学花巻市民セミナー 講演テーマ：「スポーツイベントが地域社会に及ぼす影響」 花巻市生涯学園都市会館、 2015.9.30
4	模擬講義「スポーツ科学とは何か」 秋田県立羽後高等学校、対象：2年生、2015.11.10
5	平成27年度岩手県立花巻南高等学校特別講座「健康科学」 日時：平成28年2月19日、対象：1, 2年生スポーツ健康科学学系（80名） 講義テーマ：「スポーツイベントにおける社会的効果」
6	平成28年度第2学年岩手5大学出前講義 日時：平成28年7月15日（金）、13時30分～15時 会場：盛岡中央高等学校、対象：2学年生徒18名 講座名：「スポーツ健康科学とは何か」

7	平成28年度第1、2学年岩手5大学出前講義 日時：平成28年11月7日（月）14時35分～15時25分/15時35分～16時25分 会場：岩手県立盛岡南高等学校、対象：1学年83名 2学年生徒46名、計129名 講座名：「スポーツ健康科学とは何か」
8	進路ガイダンスにおける大学・企業によるミニ講義 日時：平成28年11月11日（金）、第1回目14：15～14：45 / 第2回目14：50～15：20 会場：青森県立浪岡高等学校、対象：2学年生徒18名 講座名：「スポーツ健康科学とは何か」
9	平成29年度岩手5大学出前講義（教員対象）、日時：平成29年6月9日（金）14時分～15時30分 会場：学校法人協和学院 水沢第一高等学校、対象：教員25名 講座名：「スポーツ科学とは何か」
10	平成29年度岩手5大学出前講義、日時：平成29年7月7日（金）13時30分～15時00分 会場：盛岡中央高等学校、対象：2年生26名 講座名：「スポーツを科学する」

【社会的活動】

1	国際協力ケニア共和国スタディーツアーの総務としてツアー企画・実施・引率 岩手県青年海外協力隊を育てる会、2000年3月18日～3月29日
2	国際協力ドミニカ共和国スタディーツアーの総務としてツアー企画・実施・引率 岩手県青年海外協力隊を育てる会、2003年9月7日～9月17日
3	東北学生柔道連盟理事 2008年4月～2012年3月

【受賞歴】

1	功労賞受賞、岩手県青年海外協力隊を育てる会、エスポワールいわて、2014.10.6
2	平成28年度日本武道学会優秀論文賞（共著、第一著者以外） 日本武道学会、2016.9.7